# エネルギー回収施設（立谷川・川口）の取り組み

## 【ごみからの資源・エネルギーの回収】

### （1）ごみ処理「副産物」の有効利用

○ごみの燃焼により発生した焼却灰をスラグにしています。
スラグは、アスファルト舗装の材料やコンクリート二次製品等として利用されています。

※スラグ：ごみの焼却灰等を高温で溶融後、冷却・固化して生成される砂状の固化物

【スラグ】

| 区　分 | 令和 6 年度<br>搬出量（t） | 令和 5 年度<br>搬出量（t） |
|---|---|---|
| 立谷川 | 1,742 | 1,662 |
| 川　口 | 1,412 | 1,553 |
| 計 | 3,154 | 3,215 |

### （2）ごみ焼却施設の余熱利用の推進

○ごみ焼却時の廃熱を利用し、発電や施設搬入路のロードヒーティング等、「サーマルリサイクル」をしています。
発電した電気は、施設で使用され、余剰分は、地元の電気小売事業者に売電しています。
また、売電した電気は、地域の小中学校等で使用されています。

※サーマルリサイクル：ごみを焼却した際に発生する熱エネルギーを回収して利用する方法

足湯（エネルギー回収施設川口）

ロードヒーティング（エネルギー回収施設立谷川）

【発電】

| 区　分 | 令和 6 年度 | | 令和 5 年度 | |
|---|---|---|---|---|
| | 発電量（kwh） | 売電額（千円） | 発電量（kwh） | 売電額（千円） |
| 立谷川 | 16,353 | 111,576 | 16,665 | 120,337 |
| 川　口 | 16,508 | 159,198 | 16,742 | 162,721 |
| 計 | 32,861 | 270,774 | 33,407 | 283,058 |